

# かわら版

ASUKA KAWARABAN

発行所

#### 飛鳥出版室

発行人 永野 正将

〒780-0945 高知市本宮町65-6 電話 **088-850-0588** e-mail:info@asuka-net.jp http://www.asuka-net.jp



#### 夏、きたる。

鳴子の音が少しずつ高くなるお盆前。 暦とは裏腹に暑さも一段と厳しくなります。 今では当たり前に聞かれる「熱中症」という 言葉。屋内外問わず注意が必要だそう。体温 調節、水分補給が肝要です。 暑さをものにし、涼ある生活を。

「海風」100号に思う梶田順子	2
いろいろかいろ 士安藝眞一	4
キルギスタンからコンニチハ 🗑氏原名美	5
新聞余話②大澤重人	6
おのころじま奮染記 9田島征彦	7
出版室より	8
催し物案内板	9
わが家の太郎 ③永野雅子	10
木づくりの隼いのご室内	11

「飛鳥かわら版」は、あらゆる世代の自分史・個人誌作りを応援します。

100号に思う

見純生は高知県四万十市の出身 を残しています。 長などを務めました。国見純生は 短歌会を主宰、 職した後は高知市に帰り、「海風」 師としていました。土佐の自然を 選を受け、 ラギ歌会で斉藤茂吉と土屋文明の 生が創刊した短歌雑誌 ・蜻蜓のごとく』など六冊の歌集 化石のごとく』 『日ざかりの道 一○○七年に亡くなりましたが 「海風」は一九九 東大短歌会に参加、 東京での高校教職を定年退 生涯この二人の歌人を 高知県歌人協会会 東京アラ 心です。

生きゆく日々にまた怯えつつ戦争を経て来しわれら苦しみて 『化石のごとく』

浮かびくる顔は男ざかりのうつ ちひさき手をば水に洗へる 病院の待合室に坐れる子かすか よき世界来るとし思へよ幼子が 日ざかりの道

> 愛しさのみちくるときを大切にと思ふ 夜の歩道に足踏み出だす しゑにさだまりて「わが茂吉」

鰹が中 のを土 |刺身食べぬ雨の日| |佐町大正市場の椅子に掛け 海隅

続か否かの意見を聞くことにしま 中で編集委員会では、 死去でした。大きな不安と動揺の ら「それでいいよ」と言われ、そ したが、 な一歩を踏み出すことになったの 意見が過半数であったため、 した。その結果、存続したいとの の声音がいまも蘇ります。翌日の 主宰は体調が悪く欠席されていま えました。66号の校正の日、 あり、「海風」は存続の危機を迎 生主宰が亡くなったことは衝撃で てきました。二〇〇七年に国見純 モットーであった写実を大切にし 「海風」では国見主宰の作歌の 電話で意見をうかがった 蜻蜓のごとく 全会員に存 国見

> 季刊ながら、 と思います。「海風」は創立以来 とが、その後の歩みを支えてきた 集団で責任を持つ体制をとったこ でした。運営・編集は共同で行い 校正、発送の作業は大きな労 原稿締めきり、編

順子 個性ある作品が一冊になり発表さ び合う場であり、 れ、それを読んで下さる方々がい 力を要し、 ですが、喜びもあります。 毎回必死の取り組みで 会員のそれぞれ

梶田

向上する場であることを実感





「海風」歌会

する努力を重ねた結果、 願っています。 機に新たな会員が増えるよう切に には三十人ほどの出詠があったよ は100号に達しました。 いまは十五名。 会誌の発行と歌会を継続 高齢化などで会員は減 100号を契 創刊時 「海風

次のことを挙げることが出来るで 現在の「海風」 の特色といえば

とるゆったりとした紙面、 動と相互に添削し合う気風があり の合評など。 自費出版への協力、 時代に向き合う姿勢、石川啄木・ 首抄の連載(藤田兆大)、歌壇交流 **禎関連記事の連載、** 短歌は一人十二首で一ペー エッセイも多彩、 新かなを各自が選ぶ、 会員は自由な作歌活 鑑賞、 啄木短歌 歌集その他 歌会で 短歌の 旧か -ジを

発しています。啄木父子歌碑建立 0) 国見純生が されました。 知駅南広場に啄木父子歌碑が建立 くなったことを記念して二〇〇九 標柱を設置していたことに端を 石川啄木の父一禎が高知市で亡 そこに高知県歌人協会が木 禎終焉の地の近くの JR高 これは一九九二年に 禎の終焉の場所を特

> ナー 組みは県下の歌人を中心に多くの われたところです。こうした取り 年六月には国際啄木学会高知セミ 啄木ファンの交流が広がりました。 歌大会が開催され、高知と全国の 岩手県知事一行の来高もあり、 を契機に、啄木関連の講演会や短 が高知県立文学館で盛大に行

です。 力出来たことは幸いで 諸々の事業に大いに尽 が歌碑建立とその後の が、「海風」 されたことであります ジを連載している所以 記録を残すことに務め、 歌碑建立の初めからの した。「海風」誌には 人々の協力があって成 啄木・一禎関連」ペー 一のメンバー

短歌雜誌

2016 / 7

がす 風 わたって大野良一さん 紙絵は14号から長きに の文が掲載され 守って下さる方々の言 提供して下さっていま 「海風」 冊となりました。表 ばらしい版画絵を の歩みを振り返る 古くからの会員 説者や温 100号に かく見 海

> 号を迎えた「海風」 感じています。伝統ある短詩形文 て励んできてよかったとしみじみ い努力を思い、私もその一人とし くの方々の支えと会員のねばり強 振り返るページをとりました。 今回 短歌を大切にしたい、 記念として表紙絵も が困難な今の  $\begin{array}{c} 1 \\ 0 \\ 0 \end{array}$

> > も努力していこうと思っています。 に現代の歌を詠い、時代に向かい合い、 かに進んでいくことを願って今後 る会員のあり続けゆくべし 海風」 をいのちの糧と励みる 力強くしなや 自由に、

山本晶子 (海風会員



岩手県達増知事一行と交流 (2010.5.28)

☎088.822.6036(梶 新入会員 までお問い合わせ下さい。 100号記念号 · 新購読会員 歓迎! 100号 田

現代歌人協会会員。 かじた・みちこ

九条の会こうち世話人。 委員。高知県歌人連盟副会長。 海風短歌会編集

が………」繰り返し繰り返し放送す。豊後水道にかなりの数の敵機 を揺り動かした。飛び起きて着 られんような気がする。 されるラジオの音に起こされて見 な警戒をして下さい。繰り返しま 中です。 不が見られます。警戒警報「豊後水道にかなりの敵」 横穴の壕に逃げるぞね」と私 起きなさい。今晩はここに居っ、母はすでに身支度を整え 周辺の地域は今夜は厳重 今から公 が発令 0

> アスファルトを彫るように響き進町に私達の足音と乳母車の乳みがを折れて北に向う。静まり返った 店の中を手さぐりで進み木戸を開がかり座敷から立った。暗がりの で町内に火が付いたら消火する役いと頼んでいるが、仏頂面の父は も気をつけて下さい」と父に云い ら乳母車を引き出して寝ている弟 出来ん〟と母の頼みをこばむ。話 まわりになっているので動く事は たてている。「乳母車に乗せるき かに音もない町に踏み入れ、 けて三人で町に出た。しぃんと静 と出て公園へ行きますき、あんた 不機嫌な母は「ほんならこの子ら を抱き入れる。話がまとまらなく の合わぬ父母のいさかいを聞き乍 こし、一 替えを整えるに弟はまだ寝 緒に横穴まで逃げて欲し 息

に口を開いて掘られていた。頭か母のいう横穴の壕はこの像の足元母のに板垣退助の像が立っている。 門をくぐる、 の夜、 空を見上げて休んだ。やがて追手 に出る。真新しい材木の置き場で 青色のひろがり、 広い追手筋に出る。 音もない。第三小学校の前 と砂利道のひろがる 降るような月光 辺り一面 0

> し洞穴の壁にもたれる。 まま動けない。荒い呼吸を繰り返 きれが苦しく弟の手を握りしめた 壁づたいに奥へ進む。天井も低く を制止にかかるを母は無視して土 がめて弟を乳母車からおろ 五〇人程にうずくまる先客の人い が私達

くなり炸裂音に光が明滅し、と、突然、入口あたりが騒 声をあげる程の熱気。振り返ると 赫々と燃えるような口を出るなり 私も弟の手をとり急ぎ入口に向う。 という声に母は私の手を握りしめ くたった頃、「出るなら、今ぞ!」 で来た。ざわめきが起こりしばら く。白煙がゆっくりとしのび込ん と口々に云い交わし群れがうごめ 込む。「空襲や!」「焼夷弾や!」 悲鳴をあげて数人の群れがなだれ の怒声が入りまじり立ち上がった。 がし

燃え上がる炎を背に北に歩き出す。 に燃えさかり紅い炎が舞い上がっ が金色に染まり格子建具共に金赤 る。弓の道場に張り渡った長い梁追手門脇の武道館が燃えたててい た。弟の乳母車は行方も判らない。 な白煙に高知の街が全部焼け落 吹き上げる白

行き交う人々を押さえて懸命に り合うように、もたつき逃げる。 速度に足がふるえる。三人はすが小走りに歩く。追って来る白煙の をまき散らしながら目と鼻に飛び たずねごとを言っている。「---込んで来る。目をつむり下向いて 久万川のほとりに着いた。 の煤煙で見上げると金 母は

迎えてくれたのは店の番頭の実家 ませて下さい」と声を枯らす。出のそばの農家に転がり込んで「休 だった。火の粉だらけの頭のまま が指差して教えてくれる。 弟とそのまま横になった。 老ヶ橋のたもとにたどりつく。 疲れた母が足を引きずって海 そ

らめかけたころ、やっと一人の人

人々は首振って別れて行く。

あき

海老ヶ橋はどっちでしょうか?」

二〇年七月五日の太陽が血 み合 え灰まみれで行き過ぎる。はるか夜明け近く、人の数が農道に増 かぶったようなまだら色のままで さったまま音もない。 の彼方にドス黒い雲と白煙がから 高知の街は厚い厚い白煙がかぶ よろよろと進む人波の向うの いよどむ夜明けの空に、 東

ぞぶりと昇った。

車できるのは二、三人だけ。バス

停まっても入れ替わりに乗

降りる客がいなければバス停は素

#### ルギスタンからコンニチハ 67

### 遅れても来ないよりはマシ

氏 美

も

あり得る。

だから、

毎朝六時半

には家を出た。

遅刻はもってのほ

まで二十五分、

通行止や車両故障

間が十五分、ガタガタ道を大学前

停まで徒歩十分、

バス停で待つ時

うじはら・ なみ 高岡郡越知町生まれ。北大でロシア語を学ぶ。2001年からキ

ルギス在。国立ビシケク人文大学日本語日本文学科学科長。

ていたいと思っていた。

せめて五分前には大学に着い

ところが大学にたどり着い

て

十五年前、 大学の一講目は朝七

は必ず遅刻した。遅れそうになっ る。朝が早いから遅刻するのでは を待つ、そして、 ず、 る学生の姿など見たこともない。 てあたふたと階段を駆け上ってく からも、二、三人を除き学生たち され一講目が十二時半に変わって ない。学部の時間割が午後に変更 員が揃ってようやく授業開始とな つ。一番乗りの学生が来るのが早 けてもらったら、今度は学生を待 くて七時四十五分、八時にほぼ全 すぐには教室に入れない。 廊下で五、六分、鍵番の出勤 教室のドアを開 ま

学低学年まではよく祖母に預けら の れたものだ。 は祖母の家に預けられた。 出張となり、 中学一年の頃だ。 祖母が写真の現像や 保育園児だった弟 母が泊りがけ 私も小

ればいいという文字通りのミニミ

二ばかり。

いつもすし詰め状態で、

ルートカ。

当時は、

座席が十もあ

いたのは路線ミニバスのマルシュ 時半開始だった。通勤に利用して

> 別のところにあった。 嬉しかったが、それを喜ぶ理由は しみだった。その日も母の出張は 張のたび祖母の家に泊まるのが楽 きだったし、 修正作業をするのを眺めるの ·聞かせてもらえたから、 面白い昔話もたっぷ 母の出 が好

して、 灯したまま遅くまで本が読めた。 ができるのだ。目覚ましをセット だけとはいえ洗濯ならぬ夜更かし に見てくれる。鬼の居ぬ間に一晩 チンと消されるのだが、父は大目 情け容赦なく母に部屋の電気をバ た頃だった。いつもは九時消灯 バスに乗るという日課に慣れてき 私も毎朝五時起きで六時八分発の た。高知まで遠距離通学していた あって毎日バスと汽車で通ってい 当時、 その夜は枕元のスタンドを 父は高知市に事務 所

シーを使ったので、 び乗った。 駅に乗りつけて、 い。父と二人、タクシーで佐川 ている。 時計は鳴り疲れて畳の上に転がっ という声に起こされた。 翌朝、父の「こりゃ、いかん」 もはや朝食どころではな 高知駅からさらにタク 急行列車に飛 なんとか学校 目覚まし

ものなのだ。

あったのだ。 覚まし時計とは雲泥の存在意義が に間に合った。 母と祖母には、 目

なりいい加減になってはきたが、 ある日突然降って湧いて も根付かない。 アポを取る習慣がいつまでたって だが、仕事はさっぱりはかどらな しない文化なのだ。 とか待たされるということに頓着 めたく思う必要がない。 いう精神風土だから、遅刻を後ろ 間に合わなくても仕方がない」と ではなくなる。「間に合えばいい、 でくると、時間厳守が金科玉条 いか気になってしようがない。 いまだに約束の時間に遅れはしま り遅れないためだ。 ていた。早朝の列車や飛行機に乗 ラウマにでもなったのか、 それでも、 あの時のハラハラドキドキがト 帰省する前の日は徹夜と決め 約束してもあてにはできない ここの生活に馴染ん 客は前触れもなく 気楽でいいの 年とともにか 待たせる 大学時 来る

https://www.youtube.com/channel UC6ay1J-365qQ8TFMxqd1SuA ルギス日本語チャンネル Kyrgyz Nihongo Channel



見抜く校閲記者です。以下の 記事を点検してみてください あなたは、 紙面の間違いを

さん (敬称略)。 村秀雄▽中敦子▽宮田ミヨ子。 治▽山田県史▽石井里花▽野 中村尚▽樋口初美▽石丸哲 入賞に選ばれたのは次の皆

大澤

重人

地域など、さまざまな分野の 者が書いて来た政治や経済、 いにも目を光らせます。「校 だけでなく、事実関係の間違 などの間違いを正す「校正 校閲記者は、誤字や文法 2和感はありませんでした たるゆえんです。 取材記

者は間違いを見抜きました。 の列だけを見て、ベテラン校閲記 ありません。 などを除けば記事を信用するしか 時間で。 原稿をチェックします。それも短 とはいえ、名前の場合、 紙面の最後の関門です。 しかし、冒頭の名前 著名人

漢字でも人名用漢字でもありませ 実は、「祟」は人名に使える常用 たり) は使わない。よく似た「崇、 (たかし)の誤記ではないか、 親が愛情を注ぐ名前に「祟」(た





二の名前 雕 一無

(5)

紙面の編集長です。 ニュースを掲載する毎日新聞滋賀 デスクというのは、簡単に言えば 面のサブデスクも兼ねています。 筆 者は今、取材の傍ら、 地 元の

来ます。 各市町の役場から名簿が送られて わせをしています。たとえば私の しています。ご家族の了解を得て、 なった人たちの名前を紙面に掲載 県内で生まれた赤ちゃんと亡く 字体の確認をするため読み合 入力役のバイト女性と二 多い日には合わせて百人 間違いがあっては大変な

名前なら、一人が「大小の 澤は、さんずいの難しい

ちゅう使われます。 ませんが、スポーツ記録や選挙 と字体を読み上げ、もう一人が 軽い重いの『重』に、『人』(ひと)\_ の得票など、新聞社ではしょっ かしい手法に思われるかもしれ 元資料と照合するのです。 新人の頃、 . 何度もデスクから言われ 高校野球を取 古め 材す

もしかしたら一生に一度かもし ら、その子は一生忘れないぞ、と。 れない。そこで名前を間違った ました。 球児たちが紙面に出るの は

危うく間違うところでした。 ら「たかぶる」の「昂」でした。 で出稿したのですが、再点検した 合わせをして、「昴」と打ち込ん 日のことです。「すばる」と読み 大津に異動した初日の今年四月一 恥ずかしながら告白します。

むのかわからない名前が多いのが 傾向は、全く違います。なんと読 ちゃんと亡くなられた方の名前の 見えてくるものがあります。赤 ムとも呼ばれます。 赤ちゃん。最近ではキラキラネー よく使われる漢字は、 機械的作業を繰り返していると、 男の子な

> ちゃん……。難読の名前もありま 取った名前も目立ちます。たとえ に込められた愛情がしのばれます。 す。綾采咲(りあら)ちゃん、音 に移ります。季節を織り込む親心 叶奏(ののか)ちゃん。一字一字 明凛(あかり)ちゃん、結愛(ゆあ) ろの「こ」と、はるかの「はる」。 が伝わります。読みの一部を切り は「桜」を織り込んだ名前が相次 心遥(こはる)ちゃん。ここ 五月になると、「葵」や「颯 翔」、女の子は「莉」。

とができました」 かげで、孫の名前を自分で打つこ 「長いこと働かせてもらったお

らずもー

す。昨年、

孫が誕生しました。

図

実は、バイト女性は年配の方で

と成長されますように。 名前に込めた思い通りにすくすく お名前を載せているみんなが、

学術賞特別賞受賞。 刊『泣くのはあした―従軍看護婦、 編集委員。高知支局に支局長、次 毎日新聞大津支局兼地方部エリア 九五歳の歩跡』で第26回高知出版 長として計五年半勤務した。最新 おおざわ・しげと (7) かわら版

ほろむしゃ母衣武者 9.



男たちがいた。袋を膨らませて、矢を防いだのだ。 なると、袋は更に大きくなり、 「母衣(ほろ)武者」と呼ばれていた。室町時代に 平安時代に、戦場へ大きな袋を担いで出て行く 派手な模様や装

戦ったようだ。随分と呑気な感じがする。

がほどこされ、ひもを付けて、袋を操作しながら

月四日まで) を染める―たじまゆきひこ型絵染の世界」展は九 立派な博物館での大きな会場いっぱいに母衣武者 広いアトリエを造ったからだ。初めて母衣武者を なった。四十年間あたためていた母衣武者を、 から、母衣武者行列を描いた。母衣武者が好きに をしている人たちが、洛中洛外図に描かれている。 を吊るした。 描いて四十年、ぼくは生まれ故郷の大阪府堺市の したのは、おのころじまに引越して十三年経って、 メートルもの布いっぱいに染めてみようと思いだ 「祇園祭」だった。最初のページに、洛中洛外図 京都の祇園祭の花傘行列にも、母衣武者の仮 ぼくは四十年前に、 (大阪堺市博物館の「―ファンタジー 初めて絵本を出したのが

知市横内の星ヶ岡アートヴィレッヂ 3・8572)の会場いっぱいに踊りまわる。 母衣武者たちは、 九月十七日~十月二日 088.84 高

ともだち』で第二十回日本絵本大賞。 そうべえ』で第一回絵本にっぽん賞。 美術大学染色図案科専攻科修了。一九七八年『じごくの 大阪府堺市出身。少年時代を高知県で過ごす。 たじま・ ゆきひこ (染色家・ 絵本作家) 最新作『ふしぎな 京都市立

※「おのころじま」は淡路島の古代のよび名



#### 'entrological protection de la contraction del contraction de la c

という訳。だから創刊当時の誌名の声を受けてかわら版が作られた 自分史かわら版」。 ぜひ会報などを出して鼓舞 いていたら挫けるかもし それがかわら版 という意見があり、 歩踏み出した方の のスター 心の しれな 財 そ

心にメモをとられる方、講習後に 自体が珍しかったようですが、 当時はまだ「自分史」という言葉 上の反響で参加者は一六〇名に。 が開催されました。教室は予想以 室主催で 和六 「『自分史』作り 年四月 五.

次々と質問をいただくなど、

関

高さを実感したようです。 当日のアンケートの

中に



第1回「自分史」作り方教室の様子を伝える紙面。マス コミの反応や、自分史の進捗を伝えるコーナも。(第1号)



たの 節目の時を迎えたいと思います。 まりは今から三十年前の昭和 本誌二〇〇号まであと十号。 年 紙面を通じて何を伝えてき (一九八六年) 変遷を振り返りながら、 七月で、 始

第 タ П は

飛

鳥か

わら版」二○○号へカウントダウン

1

#### 催し物案内板 (8月~11月)



#### 「龍馬の評価」展 -坂本龍馬の実像は?-

と き **開催中~11**月**4**日(金)

9:00~17:00 (※会期中休館日なし)

ところ 高知県立坂本龍馬記念館

入館料 大人(18歳以上)500円(20名以上団体400円) 高校生以下、高知県・高知市長寿手帳所持者、療育手 帳・身体障害者手帳・障害者手帳・戦傷病者手帳・被 曝者健康手帳所持者とその介護者1名は無料

#### 福原云外生誕百年記念書展

と き 開催中~8月10日(水)

ところ 高新画廊

#### 仁淀川 ~仁淀ブルーが育む自然~

と き 開催中~9月4日(日)

休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合翌日)

開館時間 9:00~17:00 (最終入館 16:30)

ところ 越知町立横倉山自然の森博物館

入館料 大人 500円、高校・大学生 400円、

小·中学生 200円

各20名以上の団体 100円引き、70歳以上 250円、

身障者手帳をお持ちの方は無料

#### 和田通博展 一水彩画の魅力ー

と き 8月20日(土)~10月16日(日)

※毎週月曜休館

9:00~17:00 (入館は16:30まで)

ところ 香美市立美術館

入場料 一般 310 (150) 円・()内20名以上団体料金 長寿手帳提示150円、身体障害者手帳、障害者手帳(精神障害者、 保健福祉手帳)又は療育手帳を所持する者及びこれらの者を介助 するために必要な者(身体障害者等1人につき1人)は無料、高 校生以下無料 第40回 高知現日書展

と き 9月6日(火)~9月11日(日)

ところ 高知市文化プラザかるぽーと 第1・第2展示室

#### 秋のいけばな展

と き 11月12日(土)~11月13日(日) 10:00~18:00 (13日は17:00まで)

ところ 高知市文化プラザ かるぽーと7階

第1・第2展示室

入場料 前壳券 400円、当日券 500円

#### 橋雅会書展

と き 11月4日(金)~11月9日(水) ところ 高新画廊

今年も!

# ものづくり総合技術展参加決定!! 入場無料

日時 11月17日(木)~19日(土) 10:00~16:00 (予定) 会場 ぢばさんセンター

りバで で で 1 す 早冷蔵気 然ですが、 は す がい花 ベか カ 団 々 9 んは事故等に気がチュウ」しか ぐに 気を 7 る 火キ 流 父さんと男 夏とい 実か ! 庫 ユ 行 考 電 「冷蔵庫に を は 余りに が の ように  $\mathsf{I}_{\circ}$ 浴び ビラを の歩 \$ え 分 は余り得意ではないのように挙げてみま く姿 超 て か 祭り、 えば 皆さん夏 ポ 満 7 ŋ 卜 手 岸に入り 閉 楽しん ケモ が異 気を か 員 Z 0 ý ま し 子 ビ 海、 日 た 分 ラを からした。 うけ ン G たり、 り。 0 なか 様 堤 は 思い た で で で 開 といり ち 好 7 いな 0 L 防 0 11 11 出怒 いが け ま望祭川 3 る た を親 る 61

さつがき

# わが家の太郎

# 面倒みたよ

永野 雅之

わっている。たかゆみが出たのか、庭で転げまら料理に切り替えて一年近く、まら料理に切りするでしためにおか

ペットショップに直行。敷物を変えたほうが良いと聞いて、まるがそれが切れると同じこと。病院で薬をもらって飲む間は収

い。

今までの敷物を取って大掃除。

今までの敷物を取って大掃除。

甲状腺機能低下」

二日後の検査結果は意外にも

りそう。

したおおおおの草に反応することもあると言われると、草むらの中に行ると言われると、草むらの中に行ると言われると、草むらの中に行ると言われると、草むらの中に行ると言われると、草むらの中に行ると言われると、草むらの中に行ると言われると、草むらの中に行ると言われると、草むらの中に行ると言われると、

ラムとか、しし肉にしてみたら?」「鶏肉が良くない犬もいますよ。その時店員さんに聞いたりそう。

入。 という言葉に、しし肉や羊肉を購

とほほの毎日。 気がついて、眠い目をこすりなが気がついて、眠い目をこすりなが

「血液検査をしましょう」早速つれていくと、専門外来の病院を見つけてくれた。

こと。
こと。
こと。
こと。

振り回されて、私の方がついでにやれやれ、最近は太郎の食事に

あついし、ここでええわ(倉庫下)

なっていた。

但し、一過性の病気ではないの但し、一過性の病気ではないのとがいる。

袁事や散歩途中の草や、敷物が食事や散歩途中の草や、敷物がで継続治療が必要とのこと。

「とびはないことがわかって一安に突進。あれこれ思い悩むことがあるときれいに平いで変しる。

「とがる。で継続治療が必要とのこと。

言いたくないけど、面倒みたよ。だけど太郎ちゃん、今度ばかり

ながの・まさこ/飛鳥常務取締役

恐れ入りました。

それにしても人間顔負けの病名

## 「わが家の太郎」が本になります!!

多くの皆さまから愛されている大人気連載が1冊の本になります! 過去のエピソードを余すことなく収録するほか、この本でしか読めない書き 下ろしも収録予定。イラストや写真など、太郎の魅力が120%詰まったスペシャルブックです!ご期待ください! (11) かわら版 かわら版 (11)



話を聞きに来るだけOK!

"本づくり"や"自費出版"に興味のある方大歓迎! 少人数の集いで、ざっくばらんにお話します。

開催日時 2016年11月11日(金)午後2時~

(所要時間は1時間半~2時間を予定)

会 当社2階

募集人数 10名程度 参加費 無料

応募方法 住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数を明記の上、

当日お話されたい内容がございましたら併せてご記 入ください。電話、FAX、郵送にて受け付けます。

(下の応募票をご活用ください)

※郵送の場合、切手の貼り忘れにご注意ください

応募締切 2016年11月4日(金)[郵送は当日消印有効]



















#### 応募票

お名前	年齡	才
T 7.45-T		
で住所		
お電話番号	参加人数	人

質問事項など

お預かりした個人情報は本イベントの目的以外に使用いたしません。

郵送 〒780-0945 高知市本宮町65番地6

FAX 088 · 850 · 0599

**1** 088 · 850 · 0588

#### 印刷屋さんの 「すったもんだ」

代表取締役社長 永野正将



このかわら版にもチラシを同封していますが、当社商品である「A-TOOL (エイツール)」はホームページ作成・管理システムで、WordやExcelを編集するような感覚で簡単にホームページの制作、更新ができるという画期的なシステムです。まさに土佐弁で言う「えい(良い)ツール」なのです!

個人のSNSを利用して宣伝するのはあまり好きではないのですが、先日試しに宣伝してみたところ、即座に「興味がある」「話を聞きたい」という問い合わせがあり、数日後にいくつかご契約をいただきました。

SNSの訴求力に驚かされたと同時に、当社商品へのニーズを強く感じました。今後、必要とされる所へ届けられるよう、PR方法を探っていきたいと思った次第です。

#### ワードやエクセル感覚で驚くほど簡単にホームページの作成、編集ができる新時代のシステム

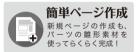


「A-TOOL」はお客様の声から誕生した、オンラインのホームページ作成ツールです。インターネットにつながる環境ならば、いつでもどこでもホームページの画面上で作成や編集ができ、HTMLやCSSといった特別な知識も必要ありません。

この他にも様々な便利な機能が充実しています!









↓「本づくりの集い」応募票ウラ面 詳細は11ページでご確認ください

戦送される 場合、お手 数ですが切 手を貼って ください

「本づくりの集い」係飛鳥出版室

780-0945

高知市本宮町六五番地六